

# 第2学年 道徳科学習指導案

令和3年2月19日(金)5校時

男子0名 女子6名 計6名

指導者 観月有沙

1 主題名 思いやりの心で 内容項目 B - (6) 親切、思いやり

教材名 「ぐみの木と小鳥」(学研「新・みんなの道徳2年」)

2 主題について

(1) 主題設定の理由

① 指導観

第1学年及び第2学年の指導内容 B 親切、思いやりは「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。」となっている。

親切とは、相手の気持ちや立場を考え想像し、励ましや援助をすることである。この親切という行動をするためには、相手の苦しみや困り感を相手の身になってどれだけ理解し、思いやれるかという共感する心が重要になってくる。児童がこれからの生活の中で多くの人とかかわり、よりよく生きていく中で、これらの思いや行動は必要不可欠なものとなる。よって本時では身近な人を親切にしたいという児童の素直な心を大切に、親切をすることで相手の喜びが自分の喜びになり、人間関係が和やかになることに気づかせたい。そして誰に対しても分け隔てなく温かい心でかかわり、親切な行為を自ら行おうとすることへの意欲付けとなるようにする。

② 児童観

この期の児童は自分中心の考え方をすることが多いが、様々な人々とかかわりの中から相手の考えや気持ちに気づくことができるようになってくる。親切にしたいという気持ちを素直に持っている反面、自己中心的な考えを持つ児童も多く、相手の思考や感情に気づきにくい。親切にする相手が仲のいい児童だけと偏りが見られたり、自分の思いを優先するあまり押しつけになったりする姿が見られる。そこで、困っている人を思いやり、親切にすることの大切さを考えられるようにする。親切にすることで、お互いが温かい気持ちになることに改めて気づき、進んで親切にしようとする心情を育てたい。

指導にあたっては、温かい心をもって進んで親切にすることの大切さについて考えを深め、相手の喜びが自分にとっても喜びとして感じるることについて触れることにより、親切な行動を進んで行おうとする態度を育てることが大切である。

③ 教材観

本教材は友達のりすを心配する動けないぐみの木の代わりに小鳥がぐみの実を届け、りすの力になるという物語である。りすが病気であることを知った小鳥は次の日もぐみの実を持ってくることを約束するがある日嵐が訪れる。小鳥は行くかどうかじっと考えた後、りすのもとに飛び立っていく。嵐を前に葛藤しながらも相手のことを考え、飛び立った小鳥の姿は、相手を思いやって行動するという強い気持ちを感じ取ることができる。本時ではその思いをより深めるため、小鳥が嵐の中りすのもとへとたどり着いた場面を役割演技し、小鳥が危険を冒してまでもりすにぐみを届けた親切心に気づくことでねらいに迫りたい。

(2) 教材について

○ 内容項目の系統（善悪の判断，自律，自由と責任）

<第1学年及び第2学年>

身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。



<第3学年及び第4学年>

相手のことを思いやり、進んで親切にすること。



<第5学年及び第6学年>

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。



<中学校>

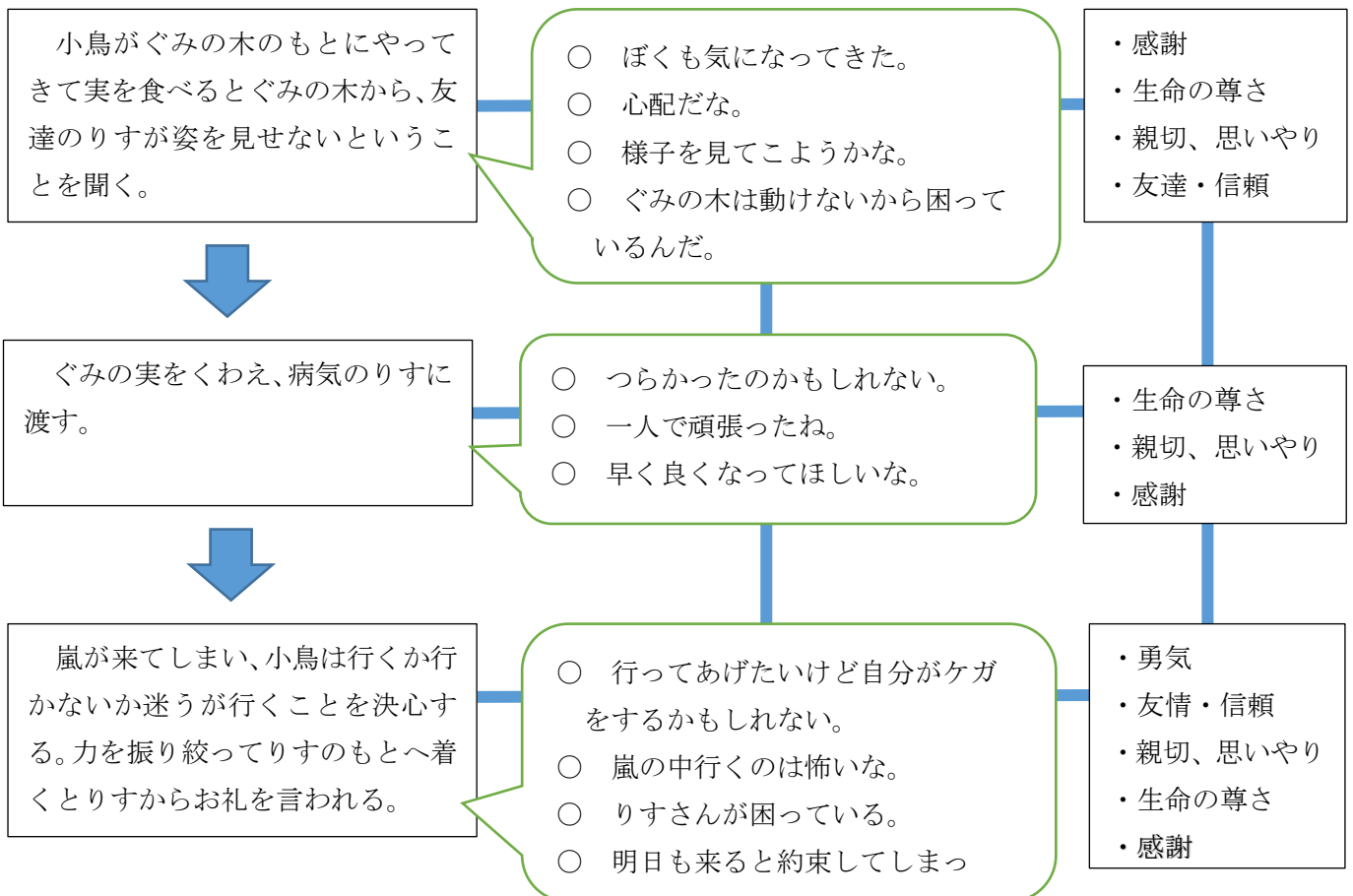
思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

○ 価値構造図

主な場面

心の動き

道徳的価値との関連



(3) 児童の実態

本主題についての児童の実態は、以下のとおりである。

(調査日 令和3年1月8日 調査人数6人 質問紙法)

【道徳的価値から①~③】

① 誰かが困っているときに、進んで助けたいですか。
はい 6人                      いいえ 0人
② あなたは親切にしたいと思っても親切にできなかったことはありますか。それはどんなときですか。
はい 3人                      いいえ 3人
場面 ・荷物が多いおばあさんが横断歩道を渡ろうとしていたけれど荷物が多くて、ゆっくりになっていた。私が気づいて「親切にしてあげよう」とおもったけれど、勇気が出なくて助けられなかった。 ・いここに優しく、仲良くしてあげようと思ったけれどもものを取られて怒ってしまって仲良くしてあげられなかった。 ・学校に行くときに知らない人に挨拶ができなかった。
(追加調査 1月22日 調査人数6人 質問紙法)
③ あなたは登校している途中です。荷物をたくさん持ったおばあさんが横断歩道をゆっくりと渡ろうとしていました。あなたならどうしますか。
手助けする 4人                      そのまま学校に向かう 2人
手助けする理由 ・おばあさんは困っているだろうし、腰も痛いかもしれない。 ・荷物が重たそうだから。 ・どんなおばあさんでも助けてあげたいから。 ・車が来たら事故にあうかもしれない。 そのまま学校に向かう理由 ・知らない人だから勇気がでない。 ・もしも怖いおばあさんだったら連れていかれるかもしれない。

【研究主題との関連から④~⑥】

④ 道徳の授業は好きですか。
好き 6人    どちらかというとき好き 0人    どちらかというとき嫌い 0人    嫌い 0人
好きの理由 ・いろいろな意見を言えるから。 ・いろいろなことが分かってくるから。 ・みんなで考える時間が好きだから。 ・いろいろなお話を考えられるから。 ・考えたのを発表するのが大好きだから。 ・道徳が楽しいから。

⑤ いろいろな教科で自分の考えを発表するのは好きですか。					
好き	6人	どちらかというとき好き	0人	どちらかというとき嫌い	0人
理由					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが拍手をしてくれるから。</li> <li>・みんなといっしょに話せるから。</li> <li>・発表して考えを教えられるから。</li> <li>・発表が楽しいから。あと、自分の考えがみんなに発表できるから。</li> <li>・自分の意見を言えるから。</li> <li>・問題が分かるからすき。</li> </ul>					
⑥ いろいろな教科で自分の考えを話し合うのは好きですか。					
好き	5人	どちらかというとき好き	0人	どちらかというとき嫌い	1人
すきの理由					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表だけでなく人の考えも聞けるし、いろいろなことが分かるし、いいところも分かるから。</li> <li>・みんながあいづちをしたり話を聞いてくれるから。</li> <li>・みんなと仲良くなれるから。</li> <li>・話すのがすきだから。</li> <li>・自分のことを知ってほしいから。</li> </ul>					
どちらかというとき嫌いの理由					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いをしているいろんな意見が自分にきたときにうまく答えられない。</li> </ul>					

(考察)

【道徳的価値から①～⑥】

①～③から、6人とも困っている相手には進んで親切にしたいという思いを持っており、親切にしようと思った時には行動に移せたことのある児童が半数いることが分かった。一方で、親切にすることが良いことであると分かっているながらも自分と関わりのない人には勇気が出ず、見て見ぬふりをしてしまったり、相手の態度次第で親切にできなかつたりしたという記述も見られた。そのため、そのような心の弱さに焦点化して、思いやりの心を持つことが素晴らしいことであるということに自覚させ、困っている人の立場に立って考え、自分と関わりのない人にも進んで親切にしようとする態度を育て、実行に移せるようにしたい。

【研究主題との関連から④～⑥】

④～⑥から、自分の意見を発表したり、話し合ったりすることに対して意欲的である児童が多い。しかし、話し合いで意見の交換をした後に質問や別の意見が出てきたことに対して自分の思いを即座に言葉にできず黙ってしまうことがあり「どちらかというとき嫌い」と回答した児童もいる。そこで、事前にワークシートに考えを書かせ、机間指導をしながら個別に繰り返し発問を行い、自分の考えを整理できるように配慮する。

### 3 指導の全体（事前事後指導・他教科との関連）

次	道徳科の関わり	他教科活動の関わり	行事・体験活動など
事前	<p>&lt;「まいごのすず」 (親切・思いやり)&gt; 相手のことを考えて、親切な行為をすることの大切さが分かり、相手のことを考えて親切な行為をしようとする態度を養う。</p>	<p>国語科：「うれしいことば」 自分や相手が嬉しく感じる言葉を振り返り、言葉の持つ働きや大切さに気付く。</p> <p>生活科：「まちが大すきたんけんたい」 黒木の町にあるものやおすすめの場所1年生に紹介する。</p>	<p>入学式 1年生を迎える会 全校朝会 児童集会 なかよし体育 なかよし音楽 水泳大会 なわとび大会 6年生とのお別れ会</p>
本時	<p><b>主題名：思いやりの心で</b> <b>教材名：ぐみの木と小鳥(学研「新・みんなの道徳2年」)</b> <b>中心価値：B-(6)親切、思いやり</b></p>		<p><b>常時活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○係や日直の仕事</li> <li>○飼育当番</li> <li>○給食当番</li> <li>○朝のボランティア活動</li> <li>○たてわり班掃除</li> <li>○帰りの会の「今日のがんばったさん」</li> </ul>
事後	<p>&lt;公園のおにごっこ(親切、思いやり)&gt; 過ちを認め、自分がよいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる。</p>	<p>国語科：「すてきなところをつたえよう」 相手の素敵などところを見つけて思いをじっくり温めて手紙にして届ける。</p>	

### 4 研究主題（仮説）とも関連

研究主題と本授業を関連付けていくために、次のような手立てをとっていく。

(1) 仮説1 道徳の時間において、考え・議論する場や方法、自覚化を促す工夫をすることで、**深い学び**が実現するのではないか。

- 役割演技を通して自分の考えを発表することでより登場人物の気持ちに共感できるようにする。
- 役割演技では、教師がりす役として入り、あえて来たことに対して来なくてよかったということを伝えることでそれでもなぜ小鳥が嵐の中親切にしに行ったか根拠を明らかにできるようにする。

(2) 仮説2 板書や資料等の指導方法を改善したり、見取りの視点を設定し評価につなげたりすることで、指導に生かし、**道徳性を高める**ことができるのではないか。

- 嵐のなか、小鳥が揺らぐ気持ちが可視化できるように、挿絵を板書に使用したり、子どもから出てきた考えを相関図に板書したりしていく。
- 見取りの視点に沿った本時の目標を設定し、指導に生かすことで道徳性を高める。

## 5 本時

### (1) ねらい

困っている人を思いやり、相手のことを考えて、進んで親切にしようとする心情を育てる。

#### ● 見取りの視点と本時の目標（具体的な姿）

視 点	① 価値理解，人間理解，他者理解などの道徳的価値を自分自身との関わりの中で深めているか。	② 多面的・多角的な考え方向へ発展しているか。	③ 自己の生き方について考えを深めているか。
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の身になって考え、思いやりをもち、自分のこととして考えている。（発言）</li> <li>自分の考えや生活を見直そうとしている。（ワークシート・発言）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と違う意見を受け入れて考えを深めている。（ワークシート・発言）</li> <li>登場人物の行動の裏にある気持ちを読み取ろうとしている。（ワークシート・発言）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業を終えて、自分はこうしたいという思いを言葉や文字に表している。（ワークシート・発言）</li> </ul>

### (2) 指導に当たって

#### ① 気付く

アンケートの結果を振り返り、本時の主題にかかわる「親切、思いやり」について話し合い、めあてを立てるようにする。

#### ② さぐる・見つける

教材文を読み、登場人物3人の言動の背景にある思いについて触れることでそれぞれの関係性の理解を促したい。また、小鳥が嵐の中りすの家まで辿り着いた場面の役割演技を通して小鳥が危険を冒してまで親切にした気持ちに迫る。

#### ③ 深める

「①授業で一生懸命考えたこと」「②話や友達の発表などから心に残った言葉」「③自分の考えが最初と変わったこと」「④これまでの自分を振り返って」「⑤授業で学んだこと」「⑥これから大切にしていきたいこと」など6つの観点を示し、児童が授業を通して考えたことを書かせ、今後温かい気持ちをもって身の回りの人と関わり親切な行動や思いやりのある行動ができるよう意欲付けする。

#### ④ 高める

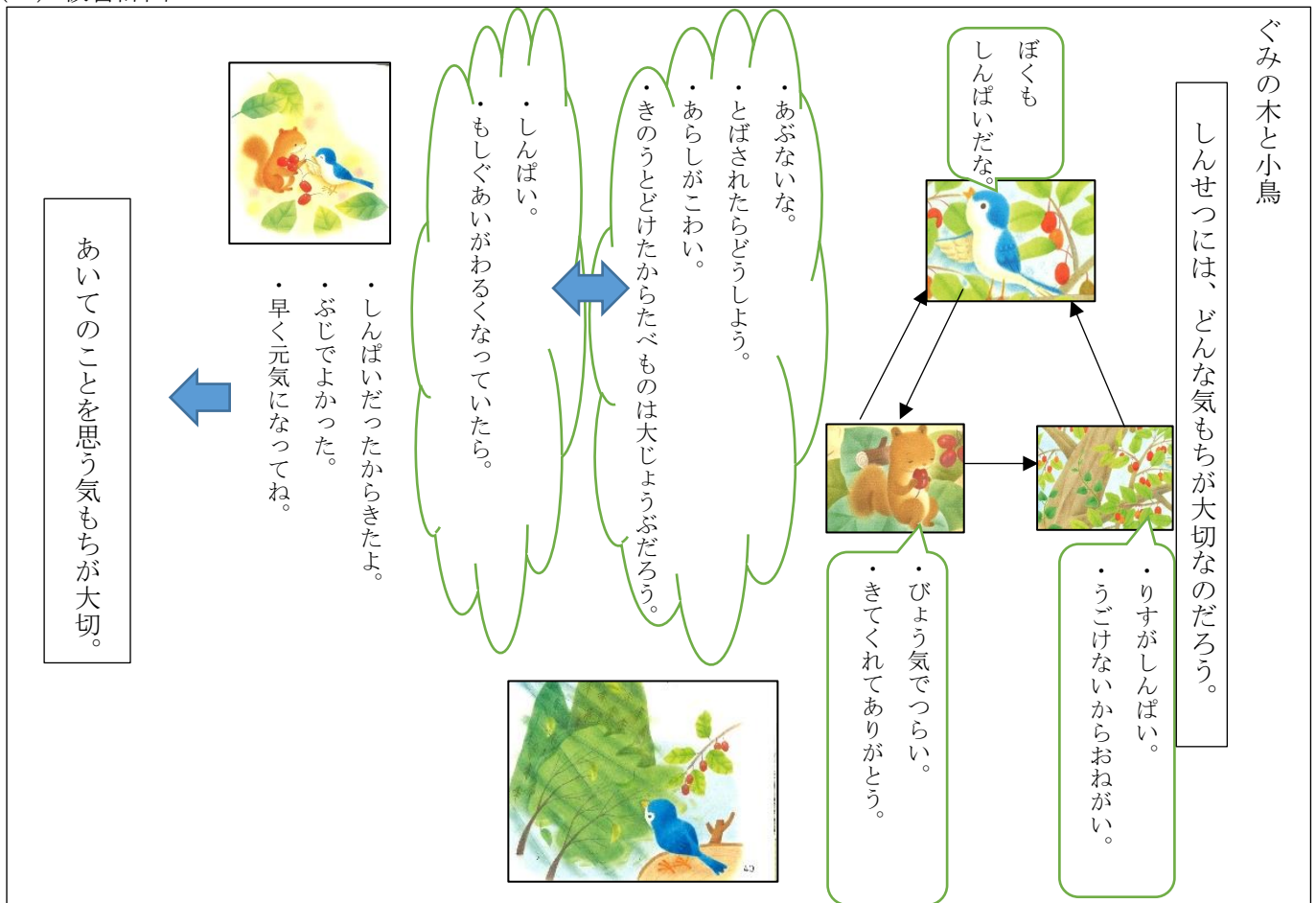
児童自身の親切な行動を取り上げることで、身近な人に向けて温かい心で接し、親切な言動を心がけていくことへ意欲を高めさせる。

(3) 実際

指導課程	主な学習活動・予想される児童の反応	時間(分)	教師の具体的な働きかけ ※評価(評価の手段)
価値の意識化	1 アンケートの結果から、考えていきたい問題に気付く。 2 めあてを立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             親切にするには、どんな気持ちが必要なのだろう。           </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果を提示し、「どんな気持ちをもつと親切にできるのか」に繋げ、めあてを立てさせる。</li> <li>※自分の考えや生活を見直そうとしている。(つぶやき・発言)</li> </ul>
価値の追求	3 教材文を読んで、考えていきたい問題について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いたいところや心に残ったところに線を引きながら読む。</li> </ul> (1) 小鳥やぐみの木、りすの関係性について考える。 (2) 嵐がやむのを待っている間、小鳥はじっと何を考えていたのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>飛ばされたらどうしよう。</li> <li>嵐が怖い。</li> <li>昨日届けたから大丈夫。</li> <li>体調が悪くなっていたら。</li> <li>ぐみの木は動けないから僕が行かないと。</li> </ul> (3) りすのもとへたどり着いた小鳥がどんな声掛けをしたか役割演技をして考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>心配したよ。</li> <li>具合はどう。</li> <li>約束通りきたよ。</li> </ul> 4 めあてを振り返り、親切にするために大切な気持ちについて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             相手のことを思う気持ちが大切。           </div>	5  4  4  1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物の相関図を用い場面の状況を簡単に説明して三人の関係を理解させてから範読を行う。</li> <li>ぐみの実を知っているか確認し、知らなければぐみの実について確認する。</li> <li>黒板に貼られた絵を見て物語を想像させる。</li> <li>嵐の場面では嵐の効果音を流し、十分に場面を把握できるようにする。</li> <li>範読後、「小鳥」「ぐみの木」「りす」の関係性を考えさせ、相関図に板書していく。</li> <li>行ってあげようという親切心だけでなく、嵐の中自分の危険をかえりみずに飛び出ることへの不安もあることを理解させる。</li> <li>※登場人物の行動の裏にある気持ちを読み取ろうとしている。(ワークシート・発言)</li> <li>※自分と違う意見を受け入れて考えを深めている。(ワークシート・発言)</li> <li>役割演技を行い、小鳥の思いを考え、相手のことを考えて行動したことを抑える。</li> <li>なぜ来たのか問いかけることで嵐の中りすのもとへ行こうと決意した小鳥の思いを引き出す。</li> <li>※相手の身になって考え、思いやりをもち、自分のこととして考えている。(発言)</li> <li>りすの気持ちや状況を考えたから親切にできたということを踏まえる。</li> <li>小鳥は嵐の中向かうことを怖いと思いながらもりすのもとへ飛び立てたのはなぜか確認する。</li> <li>これまで考えていった小鳥の思いを基にどんな気持ちが必要なのかを子どもたちの言葉でまとめさせる。</li> </ul>

価値の自覚化	5  自分の生活を振り返える。 自分が親切にしたとき相手が笑顔になったことはありますか。	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業で一生懸命考えたこと」「心に残った言葉」「最初と考えが変わったこと」「これまでの自分を振り返って」「授業で分かったこと」「これから大切にしていきたいこと」という6つの視点から自分が書けるポイントを選んで授業を振り返らせる。</li> <li>※授業を終えてこうしたいという思いを言葉や文字に表している。(ワークシート・発言)</li> </ul>
価値の意欲化	6  教師の説話を聞く。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内で行われていた親切な行動を紹介する。</li> <li>・親切なことをしている姿について話し、今後とも親切なことを積極的にしていく大切さを説く。</li> </ul>

(4) 板書計画





(5) 教師の主な発問と児童の反応 (中心発問)

主な学習活動と教師の発問	児童の意識	指導上の留意点(※評価の視点)
<p>1 アンケート結果を見る。</p> <p>T 親切な行動をしたいと全員が思っているね。それでも、おばあさんがゆっくり歩いていた時に助けるかという話ではできないかもしれないなという人もいるね。親切にした方がいいと思ってもなかなかできないのはなぜだろう。</p> <p>2 めあてを立てる。</p>	<p>C 勇気が出ない。</p> <p>C 知らない人だから怖い。</p>	<p>・アンケート結果の提示。</p> <p>・めあてにつなげる。</p>
<p>親切にするためにはどんな気持ちが必要だろうか。</p>		
<p>3 教材文を読み、考えていきたい問題を考える。</p> <p>T 今日のお話には小鳥とりすとぐみの木が出てきます。みんなはぐみの木を知っていますか。</p> <p>T ぐみという甘くて赤い実をつける木のことです。</p> <p>T このぐみの実を食べに小鳥がやってくるころからお話が始まります。そこで小鳥はぐみの木に親友のりすの姿が見えないことを聞きます。</p> <p>(1)T 今読んだお話を振り返ります。</p> <p>T 今日の主人公は、誰かな。</p> <p>T 簡単におさらいをしましょう。</p> <p>T ぐみの木は実を食べに来た小鳥にりすのすがたが見えないことを話しましたね。どうして小鳥にりすの話をしたのかな。</p> <p>T 小鳥はりすの様子を見てきましたと言いました。なぜ小鳥は見知らぬりすの様子を見に行くと行ったのだろうね。</p> <p>T りすは病気で寝ていたね。病気で寝ているときはどんな気持ちになるのかな。</p> <p>T 病気でつらい中、小鳥が来たから「ありがとう」と言ったんだね。</p> <p>(2)T 嵐がやむのを待っている間、小鳥はじっと何を考えていたのでしょうか。</p> <p>(3) T 嵐の中行くことに怖さもあつたはずだね。それでも小鳥はりすのもとに行きました。小鳥は着いてからどのようなことをりすと話したのでしょうか。小鳥になったつもりで考えてりすに話しかけてください。</p>	<p>C お菓子のぐみかな。</p> <p>C 小鳥。</p> <p>C りすが心配だったから。</p> <p>C 動けないからお願い。</p> <p>C 話を聞いて小鳥も心配になってきたから。</p> <p>C 病気でつらい。</p> <p>C 行ってあげたいけれど、飛ばされたらどうしよう。</p> <p>C ぐみの木は動けないから僕が行かないとな。</p> <p>C 心配したよ。</p> <p>C 大丈夫だった。</p> <p>C 約束したから来たよ。</p>	<p>・教材文範読(3分)</p> <p>・嵐の場面で効果音を流す。</p> <p>・範読時に定規と鉛筆を持たせて心に残ったところやみんなと話したいところに線を引かせる。</p> <p>・ワークシートに記入。</p> <p>・小鳥の面をして発表させる。</p> <p>・「怪我をするから来なくて良かったのに」「死んでしまうかもしれないのにどうして来たの」と切り返し発問をして嵐の中行こうと決断した理由を引き出す。</p>

<p>T みんなは嵐の中りすのもとへ向かった小鳥のことをどう思いますか？</p> <p>T もし小鳥が行かなかったらどうなっていたでしょう。</p> <p>T 小鳥は親切にしていましたね。嵐が怖いと思っていたのに親切にできたのはなぜなのでしょう。</p> <p>T りすの気持ちや状況を想像したから親切にしようと思えたのですね。</p> <p>4 T めあてを振り返りましょう。親切にするためにはどんな気持ちが大切でしょうか。</p> <p>5 T みなさんも同じように親切にして相手が笑顔になったことはありますか。</p> <p>6 教師の説話を聞く。</p> <p>T 2年生の間でも親切にしているなと思うときがあります。この写真は学習係の仕事をみんなが手伝っていますね。学習係だけでなく黒板係、窓電気係も自分がすることがないときには手伝ってくれますね。</p>	<p>C 嵐の中行ったのがすごい。</p> <p>C 頑張れてえらいな。</p> <p>C いい人。</p> <p>C りすが体調が悪くなっていたかも。</p> <p>C りすがおなかをすかしていたかも。</p> <p>C りすのことを想像したから。</p> <p>C もしも行かなかったらりすがどうなるか考えたから。</p> <p>C 相手のことを考える。</p> <p>C 相手の気持ちを想像してみる。</p> <p>C お母さんの手伝いをした。</p>	<p>・係りの仕事を手伝う児童の写真を提示する。</p>
---	---	------------------------------